

香芝市環境基本計画(第二次)

自然豊かな環境が人とともにめぐるまち
～ 市民と行政の『協働』で未来へつなぐ 環境香芝市 ～

<達成状況報告書>

(令和2年度)

令和3年8月

香芝市

<目次>

はじめに.....	1
1 計画の概要について	1
1-1 計画の位置づけ	1
1-2 計画の期間.....	1
1-3 香芝市がめざす環境像	1
1-4 施策体系	2
(1) 施策体系の設定	2
(2) 施策体系の関係	2
1-5 進捗管理の指標	3
(1) 指標の設定	3
(2) 指標の目標達成状況の確認方法について	4
2 令和2年度の評価結果について.....	4
2-1 評価区分ごとの結果について.....	4
2-2 基本目標別の指標目標達成状況について	4
(1) 基本目標別の指標達成状況の結果まとめについて.....	4
(2) 基本目標 1 の結果について	5
(3) 基本目標 2 の結果について	6
(4) 基本目標 3 の結果について	8
(5) 基本目標 4 の結果について	9
3 指標設定のない主な取り組みの達成状況	10
(1) 達成状況の確認方法について	10
(2) 基本目標別の達成状況の結果まとめについて	10
4 課題と今後の取り組みについて	10

はじめに

本市では、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成31年3月に香芝市環境基本計画(第二次)(以下、「本計画」という。)を策定いたしました。本計画では、本市における将来の環境像を定め、その環境像を目指すために、基本目標、基本施策及び具体的な取り組みを設定しております。本計画の推進にあたっては、各部局において毎年の基本施策等を実施し、その進捗や目標達成状況について、進捗管理指標を用いた点検・評価を行うこととしております。本報告書は、当年度における点検・評価結果をまとめたものになります。

1 計画の概要について

1-1 計画の位置づけ

「香芝市環境基本計画」は、本市における環境施策に関する最上位計画であるとともに、まちづくりの最上位計画である「香芝市総合計画」を環境面から補完し具体化するものです。また、本市が、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項を定めた環境面でのマスタープランとして位置づけられるものです。

1-2 計画の期間

令和元年度から令和10年度までの10年間

		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
本計画	計画目標	10年間										
	進捗確認		➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡

1-3 香芝市がめざす環境像

本計画では、本市がめざすまちづくり全体の方向性や、これまでめざしてきた環境像との整合性、意識調査により得られた市民の価値観の反映、社会情勢等を勘案し、将来の環境像を以下の通り設定しております。

本計画 将来の環境像

自然豊かな環境が人とともにめぐるまち
～ 市民と行政の『協働』で未来へつなぐ 環境香芝市 ～

香芝市環境基本条例 (前文)

私たちのまち香芝市は、二上山をシンボルに仰ぎ、緑あふれる丘陵や田園風景など古代よりの伝統文化に彩られる一方で、近年のめまぐるしい都市化の進展により、新しい文化が発展しつつあります。

このように、香芝市の持つ都市と自然の融合した良好な都市空間と生活環境は、市民の共通財産であり、これを守り育て、未来の世代に引き継いでいくことは、我々の世代に課された重要な使命であります。

しかしながら、近年の社会経済活動は、生活の利便性や物資の豊かさなどをもたらす一方で、身近な自然の減少、都市生活型公害の増加などを引き起こし、地球温暖化やオゾン層の破壊を生むなど、地球環境に大きな負荷を与え、すべての生物の生存基盤そのものを脅かしつつあります。

そこで、私たちは、愛するふるさと「香芝市」の自然環境を守り育て、持続可能で創造的な都市の実現することが、究極的には、地球環境問題の解決につながっていくものであるということを共通理解として、市、事業者及び市民が互いに連携し、協働して率先的に行動することを誓い、この条例を制定します。

1-4 施策体系

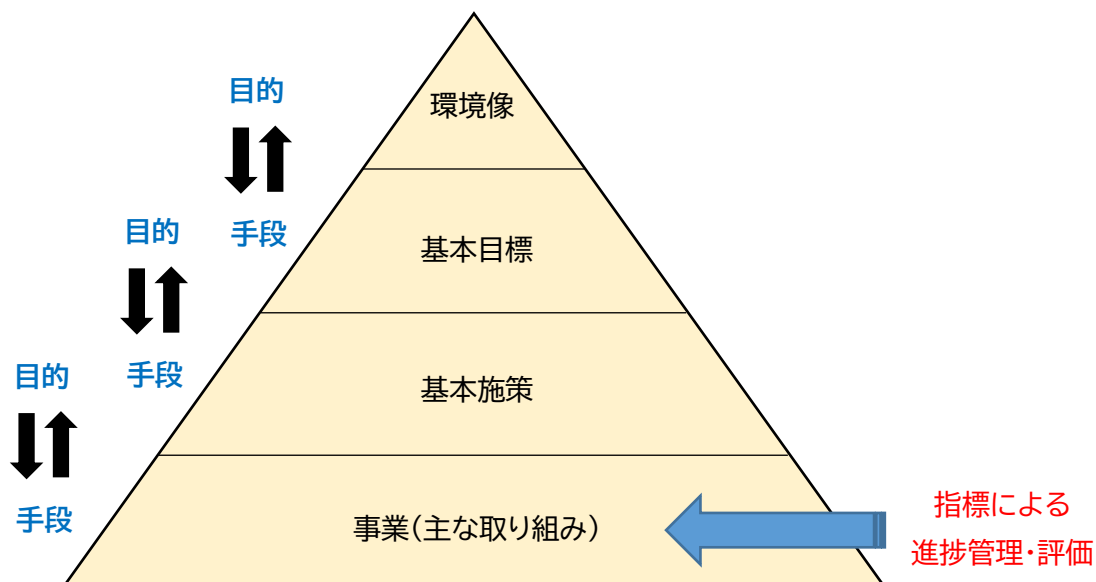
(1) 施策体系の設定

基本目標を達成するため、基本施策と事業を以下のとおり設定しております。

環境像	基本目標	基本施策	事業
自然豊かな環境が人とともにめぐるまち 市民と行政の『協働』で未来へつなぐ環境香芝市	【基本目標1】 地域に根ざす自然環境を守り育みます	1-1動植物の生息・生育環境の保全	①森林・農地の保全 ②生物多様性の保全 ③貴重な自然環境の保全
		1-2自然に触れ学ぶ場と機会の拡充	①自然と触れ合う学習の推進
	【基本目標2】 人にやさしい環境づくりを進めます	2-1安全・安心な生活環境の保全	①大気環境の保全 ②水環境の保全 ③騒音・振動・その他の公害の防止
			①良好なまちなみの維持・整備 ②都市緑化の推進 ③環境美化の推進
			①地域の歴史・文化の保全・活用
		2-2良好な都市景観の形成	①3Rの推進 ②廃棄物の適正処理の推進
	【基本目標3】 エネルギーや資源を大切に するライフスタイルに転換 します	2-3歴史・文化の保全・活用	①省エネルギー対策の推進 ②再生可能エネルギー導入の推進 ③フロン類の対策
		3-1循環型社会の形成	①情報発信の充実 ②環境学習・市民参加の推進
		3-2地球温暖化対策の推進	
	【基本目標4】 さまざまな主体が連携して 環境保全に取り組みます	4-1各主体の連携の促進	

(2) 施策体系の関係

上の層と下の層は、それぞれが「目的」と、それを成し遂げるための「手段」の関係にあります。



1-5 進捗管理の指標

(1) 指標の設定

本計画に基づき、各部局において基本施策・事業を実施しておりますが、その進捗管理や達成状況を点検・評価をするため、以下のとおり、定量的に評価ができる指標及び目標を設定しております。

基本目標	基本施策	指標	目標
【1】 地域に根ざす自然環境を守り育みます	1-1 動植物の生息・生育環境の保全	特定農地の登録面積	10a/年 以上
		新たな担い手への農地集積・集約化の面積	香芝市農業委員会「農地等の利用の最適化推進に関する指針」 目標数値
		遊休農地の発生防止・解消の面積	
		農産物等の地産地消に関する催しの実施回数	1回/年 以上
		不適切な管理である生産緑地	0地区
		農業用施設整備に関する説明会の実施回数	1回/年 以上
	1-2 自然に触れ学ぶ場と機会の拡充	地域の特色を活かした講座・イベントの開催回数	1回/年 以上
		市民等との協働による二上山の清掃活動の実施回数	1回/年 以上
【2】 人にやさしい環境づくりを進めます	2-1 安全・安心な生活環境の保全	大気汚染物質(NO ₂)の環境基準達成率	100.0%
		下水道普及率	89.7%
		下水道接続率	95.0%
		市内主要河川の水質(BOD)の環境基準達成率	100.0%
		自動車騒音及び環境騒音の環境基準達成率	100.0%
	2-2 良好な都市景観の形成	違反屋外広告物の簡易除却の実施	3回/年 以上
		公園面積	42.4ha
		未利用ため池の親水公園整備の実施	4箇所
		自治会による公園・緑地の維持管理箇所数	47箇所
		自治会による美化清掃の支援	2回/年 以上
	2-3 歴史・文化の保全・活用	文化財に関する巡視回数	12回/年 以上
		文化財に関する清掃活動	6回/年 以上
【3】 エネルギーや資源を大切に するライフスタイルに 転換します	3-1 循環型社会の形成	ごみの排出量(家庭系1日一人当たり)の低減	「香芝市総合計画」 めざそう値
		リサイクル率(家庭系)の向上	
	3-2 地球温暖化対策の推進	市の事務事業による温室効果ガス総排出量の削減(上段:排出係数固定/下段:排出係数変動) ●排出係数とは、エネルギー種類別に定められており、 温室効果ガス排出量を算定する際に用いる係数をいいます。	「香芝市地球温暖化対策実行計画」 目標数値
		「香芝市地域公共交通網形成計画」の策定	計画期間内に策定
		最新の排出ガス規制適合車の導入	計画期間内に導入
【4】 さまざまな主体が連携して環境保全に取り組みます	4-1 各主体の連携の促進	環境をテーマとした情報の発信	テーマを決め毎月実施
		市による学校での環境学習の実施	2回/年 以上
		環境保全活動団体による環境学習の実施	1回/年 以上
		自然や歴史・文化とふれあう講座・講演会の開催	6回/年 以上
		ふれあいフェスタ等での環境意識向上に向けた取り組み実施	1回/年 以上
		学校給食における地域食材利用の取り組み実施	1回/年 以上

(2) 指標の目標達成状況の確認方法について

評価年度に実施した事業内容とその成果、また、指標の目標達成状況等を総合的に判断し、各担当所管課において、次のA～Eのうちから選択し、それぞれ実施した事業内容とその成果及び次年度に向けた課題について、記述式でまとめる確認方法を実施しております。

目標達成度 (区分)	事業の状態	
	指標設定がある取り組み	達成率(%)
A	目標が達成された	100
B	目標未達成だが、取り組み・進捗状況(高い)	75
C	目標未達成だが、取り組み・進捗状況(中程度)	50
D	目標未達成で、取り組み進捗状況(低い)	25
E	未着手	0

評価に対する
コメント

【視点】

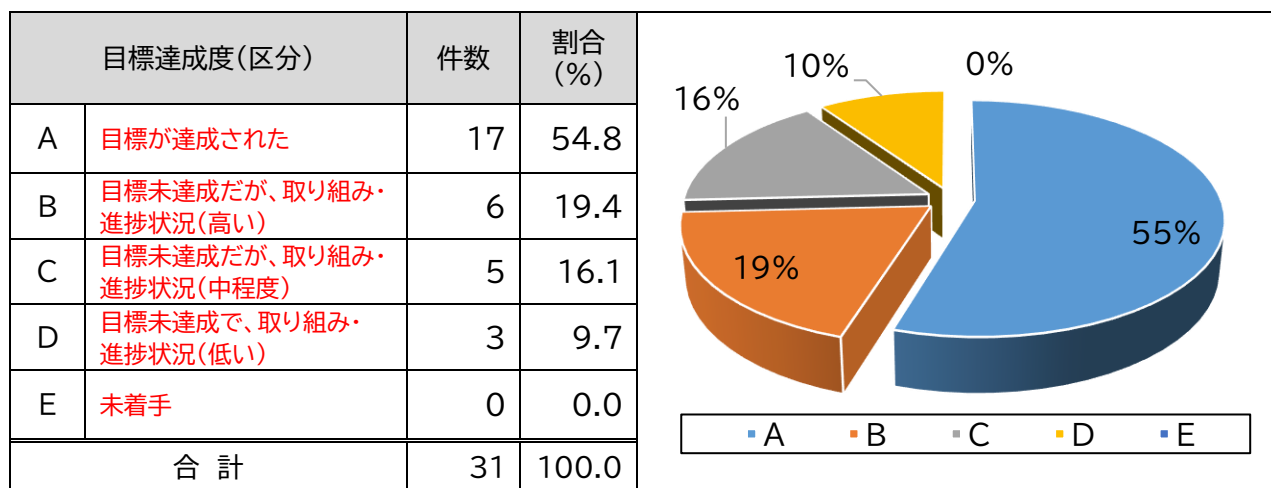
- ①実施した事業内容とその成果
- ②次年度に向けた課題

達成状況の確認には、A～Eを
達成率(%)に読み替えて集計

2 令和2年度の評価結果について

2-1 評価区分ごとの結果について

1-5(1)で掲載した指標の評価区分ごとの結果については、以下のとおりです。



2-2 基本目標別の指標目標達成状況について

(1) 基本目標別の指標達成状況の結果まとめについて

基本目標別の指標達成状況をまとめた結果については、以下のとおりです。

基本目標	指標数	達成率
基本目標1	8	68.7%
基本目標2	12	83.3%
基本目標3	5	65.0%
基本目標4	6	100.0%
	31	79.8% ※少数第2位切捨

(2) 基本目標 1 の結果について

●【基本目標1】指標目標達成状況				
①環境指標数	8	(CD1～8)		
②総コマ数	32	(4コマ[1指標につき]×8指標)		
③達成コマ数	22	(塗りつぶされたコマ数)		
④達成率(%)	68.7%	(③ / ②) ※少数第2位切捨		

基本施策	事業	主な取り組み	指標		目標値	目標達成度 (A～E)	達成率(%)					① 実施した事業内容とその成果 ② 次年度に向けた課題	担当課
			CD	項目			25	50	75	100	%		
1-1 動植物の生息・生育環境の保全	①森林・農地の保全	「特定農地貸付事業」による遊休農地の有効活用、事業協力者の参入促進を進めます。	1	特定農地の登録面積	10a/年 以上	D					25	① 市内農地を無償で特定農地として登録してもらい、市民へ貸出をして遊休農地の有効活用を行う。令和2年度は登録希望の農地が何か所か出たが、なかなか良い条件の農地が見つからず、上中の農地の拡大のみを行った。 ② 特定農地として適している農地が限られているため、継続して面積を増やすことは難しい。	農業委員会 農政土木管理課
					2a								
		「農地利用最適化交付金事業」による農地利用の最適化を推進します。	2	新たな担い手への農地集積・集約化の面積	香芝市農業委員会「農地等の利用の最適化推進に関する指針」目標数値(0.56ha/年)	A					100	① 農地中間管理機構との連携を強化し農地の出し手と受け手の情報共有を図り、担い手への農地利用の集積・集約を推進した。 ② 農地中間管理機構の認知を広げることが必要。	農業委員会
					0.9ha (3.3ha)								
			3	遊休農地の発生防止・解消の面積	香芝市農業委員会「農地等の利用の最適化推進に関する指針」目標数値(5ha)	A					100	① 農地/パトロールを実施し、市内農地の現況を確認し遊休農地の発生防止に努め、遊休農地で特産品の材料となる作物の生産を行った。 ② 令和2年度は遊休農地解消を増やすことができたが、遊休農地発生防止を継続して前年度を上回らないように努める。	農業委員会
					3.5ha (0.6ha)								
		農産物等の地産地消を促進します。	4	農産物等の地産地消に関する催しの実施	1回/年 以上	B					75	① コロナ禍により、ふれあいフェスタによるPRは実施できなかったが、毎月1回実施している給食会議に地産地消コーディネーターを招き、講習を実施したこと等により、給食による地場産率が2.8%から6.5%へ上昇した。 ② 引き続き、毎月1回給食会議を実施して、作物の生育状況や使用時期の情報交換を行い、地場産率の向上に努める。	農政土木管理課
					0回								
		生産緑地の適正管理/パトロールを実施し、耕作放棄地に対して指導を行います。	5	不適切な管理である生産緑地(地区:H28年値/9地区)	0 地区	C					50	① 令和2年度に現地調査(パトロール)を行い、不適切な管理のものについては管理者に通知文を送付し、指導を行った。 ② 引き続き現地調査(パトロール)を行い、不適切な管理の土地については指導を行う。	都市計画課
					6 地区								
1-2 自然に触れ学ぶ場と機会の拡充	②生物多様性の保全	旗尾池を始めとする多くのため池について、本市の特色ある水環境として適切に保全・活用していくことを支援します。	6	農業用施設整備に関する説明会の実施回数	1回/年 以上	B					75	① コロナ禍により、説明会は実施できなかったが、農業用施設管理者へ資料を配付し周知を行った。 ② 農業用施設管理者と連携をとり、施設改良等が必要な施設の整備を推進することにより、適切に維持管理をするよう支援していく。また、老朽化する施設が増加する中、優先順位を決めて整備していく必要がある。	農政土木管理課
					0 回								
		市民等との協働により、地域の特色を活かした講座・イベントの開催回数	7	地域の特色を活かした講座・イベントの開催回数	1回/年 以上	A					100	① 市政出前講座等により、郷土の歴史や文化財等の学習機会の充実を図っているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあって0件であった。なお、香芝中学校の出前職場体験において、地域に密着した郷土学習授業を実施した。 ② 出前講座等はコロナ対策を徹底するとともに、状況を見ながらの開催とする。	生涯学習課
					1回								
		すくれた自然景観の保全のため、市民等との協働により、二上山の清掃登山活動等を行います。	8	市民等との協働による二上山の清掃活動の実施回数	1回/年 以上	D					25	① 年中行事「岳のぼり」が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。 ② 一方、美化促進協議会として二上山の清掃活動等を行い、自然環境の保全を行った。 新型コロナウイルス感染症収束の目途がたない状況が続く中、withコロナを見据え、関係団体と検討する。	商工振興課
					0回								

(3) 基本目標 2 の結果について

●【基本目標2】指標目標達成状況				
①環境指標数	12	(CD21～25)		
②総コマ数	48	(4コマ[1指標につき]×12指標)		
③達成コマ数	40	(塗りつぶされたコマ数)		
④達成率(%)	83.3%	(③ / ②) ※少数第2位切捨		

基本施策	事業	主な取り組み	指標		目標値	目標達成度	達成率(%)						① 実施した事業内容とその成果 ② 次年度に向けた課題	担当課
			CD	項目	令和2年度実績値	(A～E)	25	50	75	100	%			
2-1安全・安心な生活環境の保全	①大気環境の保全	奈良県と連携し、奈良県生活環境保全条例等に基づく大気汚染の監視、指導を行っていきます。	9	大気汚染物質（NO2）の環境基準達成率	100.0%	A					100	令和3年2月に、市内13カ所において大気汚染簡易測定キットによる大気汚染濃度の測定を実施し、環境基準達成状況を把握した。結果としては、昨年度同様100%の達成率となった。	市民衛生課	
					100.0%							今後も今回の結果を維持するため、広報等で、エコドライブや公共交通の利用促進など、大気汚染物質の減少に向け、情報を発信する必要がある。		
	②水・土壌環境の保全	下水道の計画区域内における未整備区域の解消にむけて普及を促進します。	10	下水道普及率	89.7%	B					75	穴虫・今泉・逢坂・鎌田・上中・瓦口・北今市・五位堂・高・畑・別所・良福寺において、下水道管渠約6.4kmの整備を実施した。	下水道課	
					75.3%							穴虫・磯壁・逢坂・鎌田・上中・瓦口・狐井・五位堂・別所・良福寺地内において下水道管渠約5.9kmの整備を実施する。		
		下水道供用区域内における未接続世帯の解消にむけて、さめ細やかな啓発活動を実施して早期接続を促します。	11	下水道接続率	95.0%	B					75	公共下水道未接続者への普及啓発を専門に行う「下水道接続推進員」を雇用し、啓発活動を行っている。それに伴い、令和2年度において、464件の未接続が解消されている。	下水道課	
					90.1%							普及率の伸びに対して、接続率が追いついていない状態である。そのため、供用開始後3年以内の地域を中心に啓発を行い、前年度以上の未接続の解消に努める。		
		奈良県と連携し、奈良県生活環境保全条例等に基づく水質汚染の監視、指導を行っていきます。	12	市内主要河川の水質(BOD)の環境基準達成率	100.0%	C					50	8月と2月の年2回、市内主要7河川8箇所において水質検査を実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により在宅時間が増えた影響もあり、前年度対比で全体的に数値が上昇しており、未達成の箇所も増える結果となった。	市民衛生課	
					56.0%							BOD値を上げている原因の特定は困難であるが、浄化槽の適正な維持管理を中心に、生活排水についての意識改善を促すことで、環境基準達成を目指す必要がある。		
	③騒音・振動・その他の公害の防止	自動車騒音及び環境騒音の定期的な調査を実施します。	13	自動車騒音及び環境騒音の環境基準達成率	100.0%	B					75	自動車騒音は令和2年12月に市内6箇所、環境騒音は令和3年2月に市内13箇所、日中及び夜間の騒音測定を実施し、環境基準達成状況を把握した。結果としては、自動車騒音の1箇所のみで環境基準を若干超過しているものの、概ね達成できている。	市民衛生課	
					92.0%							騒音測定時の自動車等の走行状況等が測定結果に影響を及ぼすため、安定した結果を求めることが困難であるが、自動車騒音や環境騒音に関する広報を行い、騒音に対する意識改善を促す必要がある。		
2-2良好な都市景観の形成	①良好なまちなみの維持・整備	良好な沿道環境を保全するため、市民等との協働により、違反屋外広告物の除却を行います。	14	違反屋外広告物の簡易除却の実施回数	3回/年 以上	B					75	庁内各課、関係機関と連携して簡易除却を継続的に実施することにより、違反広告物を減少させた。	都市計画課	
					2回							昨年度はコロナ禍の影響で違反広告物推進団体の活動回数を減らしたが、近年の活動の成果として違反広告物の減少傾向であることを受け、今後においても、引き続き協力体制を継続していく。		
	②都市緑化の推進	公園・緑地について、スポーツ公園や街区公園整備等、奈良県と連携を図りながら、緑に恵まれた交流と憩いの空間の創出を進めていきます。	15	公園面積	42.4 ha	C					50	【都市計画課】香芝総合公園の都市計画区域の変更等に向けて、国・県と協議を行った。【土木課】香芝市スポーツ公園整備事業造成工事(3期)令和2年度香芝市スポーツ公園整備事業に係る造成工事を実施。【農政土木管理課】特になし。減少分については、H30.10.15に国道の拡幅に伴う緑地の一部廃止のため【都市計画課】公園や緑地のあり方について定めた緑の基本計画を令和3～4年度の2力年で見直しを実施する。【土木課】事業計画完了の令和6年3月31日まで引き続き当該事業を行う。【農政土木管理課】特になし。	都市計画課 土木課 農政土木管理課	
					40.7 ha									
		未利用のため池等、身近な水辺等を活用したみどりの拠点の保全と活用を進めます。	16	未利用ため池の親水公園整備箇所	4箇所	A					100	令和元年度より施工していた尼寺コモ池公園整備工事が令和2年5月29日に竣工し目標値を達成した。	土木課	
					4箇所							目標値は達成したが引き続き、整備箇所等の検討を行う。		
		市民等との協働により、公園樹木や街路樹等の維持管理や緑化活動を進めます。	17	自治会による公園・緑地の維持管理箇所数	47箇所	A					100	47箇所について自治会に委託を実施した。	農政土木管理課	
					47箇所							地域住民の高齢化に伴い、公園の維持管理委託を負担に感じる自治会が増加している。		
	③環境美化の推進	まちの美観向上のため、地域の清掃活動等を支援します。	18	自治会による美化清掃の支援	2回/年 以上	A					100	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、5月実施の自治会は減少したものの、自治会との調整を図り年2回(5月、10月)の美化清掃活動に必要な備品の提供とごみの回収を行うことで、地域的美観を保つことが出来た。	市民衛生課	
					2回							自治会長の任期満了による交代等で5月の事業に関しては事業の概要を把握出来ていない自治会長や役員等もあるため、事業案内が出来るとような資料を作成する。		

基本施策	事業	主な取り組み	指標		目標値	目標達成度	達成率(%)					① 実施した事業内容とその成果 ② 次年度に向けた課題	担当課
			CD	項目	令和2年度実績値	(A～E)	25	50	75	100	%		
2-3歴史・文化の保全・活用	①地域の歴史・文化の保全・活用	古くからの町並みや古墳等、歴史的経緯により形づくられた景観の保全を図ります。	19	文化財の巡視回数	12回/年 以上	A					100	① 文化財保護指導委員の毎月1回の定期的な巡視活動により、文化財の現状確認と、遺跡の無届けによる開発行為を未然に防ぐことができた。 ② 文化財保護指導委員の定期的な巡視で市内全域をカバーすることは困難なため、市民の協力が不可欠である。引き続き、普及啓発事業等を通じて文化財の保存や景観保全について周知を図っていく。	生涯学習課
					12回								
		市民等との協働により、地域に残る史跡等の文化財の保全・活用に努めます。	20	文化財の清掃活動	6回/年 以上	A					100	① 尼寺廃寺跡学習館は、博物館のボランティアガイドの方々と清掃作業をおこなっているが、今年度はコロナ渦のため、職員による月1回の清掃のみとした。 ② 次年度も施設設備の適切な維持管理に努める。	生涯学習課
					12回								

(4) 基本目標 3 の結果について

●【基本目標3】指標目標達成状況				
①環境指標数	5	(CD21～25)		
②総コマ数	20	(4コマ[1指標につき]×5指標)		
③達成コマ数	13	(塗りつぶされたコマ数)		
④達成率(%)	65.0%	(③ / ②)		※少数第2位切捨

基本施策	事業	主な取り組み	指標		目標値	目標達成度	達成率(%)					① 実施した事業内容とその成果 ② 次年度に向けた課題	担当課
			CD	項目	令和2年度実績値	(A～E)	25	50	75	100	%		
3-1循環型社会の形成	①3Rの推進	こみの減量化に向けた啓発を行うとともに、ごみ減量を効果的に推進するための仕組み等について検討します。	21	ごみの排出量(家庭系)	「香芝市総合計画」めざそう値 (533 g/人・日)	C					50	① 昨年度と同様に、3R推進月間に合わせ「広報かしぼ」に3Rに関する記事掲載を行うとともに、小学校での環境学習を通じて、若年層からごみ減量の意識付けを図り、長期的な視点に立った取り組みを行っている。結果として、昨年度からの減少に繋がった。 ② リフューズ(発生抑制)に関する取り組みがエコバックの配布に留まるため、『ええもんクルっと市・コーナー』や、分別品目の追加などと併せて拡充することで、更なる3Rの推進を図り、ごみの減少に繋げる必要がある。	市民衛生課
					667 g/人・日								
		市民や事業所と協働し、地域の集団資源回収、小型家電、廃食油のリサイクル等の取り組みを推進します。	22	リサイクル率(家庭系)の向上	「香芝市総合計画」めざそう値 (23%)	D					25	上記載と同様、3Rに関する記事掲載や、小学校での環境学習を通じたごみ分別の啓発を行った。 ① しかし、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症に伴う集団資源回収の減少等により、資源ごみの回収が減少する結果となった。 ② 新聞や雑誌などの取扱量の減少がリサイクル率減少にも繋がっていることから、資源ごみ分別の徹底を呼び掛けるとともに、新たな分別品目の追加を検討する。	市民衛生課
					13.8%								
3-2地球温暖化対策の推進	①省エネルギー対策の推進	「香芝市地球温暖化対策実行計画」に基づいた省エネルギー対策を実施し、市主体の取り組みを推進します。	23	市の事務事業による温室効果ガス総排出量の削減	「香芝市地球温暖化対策実行計画」目標数値 (3,935t-CO2)	A					100	「市職員の率先行動」に基づく節電対策や、過去に行ったLED照明機器の導入の効果をはじめ、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による休校・休館により、電気使用量等が減少したことが大きく影響し、基準年度対比約31.7%の削減となった。 ① 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による電気使用量等の減少により、通常の取組に対する効果が見えにくくなってしまったが、今後も引き続き、排出係数にとらわれことなく、使用量の低減に努める。 ② 香芝市地域公共交通活性化協議会を6回開催し(書面開催3回)、香芝市地域公共交通計画を策定した。 ※「香芝市地域公共交通網形成計画」から「香芝市地域公共交通計画」に名称変更	市民衛生課
					3,086 t-CO2								
		持続可能な低炭素なまちづくりを促進するため、交通システムの見直しを行います。	24	「香芝市地域公共交通網形成計画」の策定	計画期間内図策定	A					100	① 計画に定めた目標達成のための事業の実施について検討する。 ②	生活安全課
					—								
		持続可能な低炭素なまちづくりを促進するため、低燃費なコミュニティバス車両を導入します。	25	最新の排出ガス規制適合車の導入	計画期間内図導入	C					50	令和2年度に策定した「香芝市地域公共交通計画」内において具体的な導入時期を令和4年度予定と定め、取り組みを進めている。 ① 「香芝市地域公共交通計画」に定めた車両の更新に向けて、低燃費な車両について調査検討する。 ②	生活安全課
					—								

(5) 基本目標 4 の結果について

●【基本目標4】指標目標達成状況				
①環境指標数	6	(CD26～31)		
②総コマ数	24	(4コマ [1指標につき] × 6指標)		
③達成コマ数	24	(塗りつぶされたコマ数)		
④達成率(%)	100.0%	(③ / ②) ※少数第2位切捨		

基本施策	事業	主な取り組み	指標		目標値	目標達成度	達成率(%)					① 実施した事業内容とその成果 ② 次年度に向けた課題	担当課
			CD	項目	令和2年度実績値	(A～E)	25	50	75	100	%		
4-1主体の連携の促進	①情報発信の充実	広報紙、ホームページ、地域コミュニティ、行政窓口等、さまざまな手段を用いて、環境に関する啓発を行います。	26	環境をテーマとした情報の発信 テーマを決め毎月実施		A					100	① 昨年度に引き続き、秘書広報課に協力依頼をし、年間を通してテーマを決めて広報活動を実施した。令和2年度も記事に関する問合せも多く、反響を得ることができた。 ② 市民の方など、広報紙により情報を伝達することが可能な場合と、事業者や、市内在学・在勤者の方など、それ以外の手法で伝える必要がある場合があるなど、単に情報を発信するのではなく、発信の仕方について工夫が必要。	市民衛生課
					100.0%								
	②環境学習・市民参加の推進	環境学習機会の創出を図ります。	27	市による学校での環境学習	2回/年 以上	A					100	① 昨年度と同様、市内小学校4年生を対象に、香芝市のごみのことについて市民衛生課・収集センターとボランティア団体とで環境学習を行った。学んでもらったごみの知識を家族に広げてもらうことで、ごみ減量に繋がった。 ② 昨年度に引き続き、ボランティア団体が高齢化しているため、新規人材の募集提案等のアドバイスを行いボランティア団体の強化を図る。	市民衛生課
					2 回								
		子どもの発達段階に応じて、小中学校における環境学習を進めるとともに、地域の市民団体等との協働により、環境学習の機会を図ります。	28	環境保全活動団体による環境学習の実施	1回/年 以上	A					100	① 小学校5年生を対象とする校外学習や野外活動において、森林環境教育に係る環境学習を実施した。各教科との連携を図りながら、教科横断的に取り組むことで、児童の森林に対する関心が高まり、森林保全への意識の向上が見られた。 ② 新型コロナウイルス感染症のため校外学習や野外活動の実施時期が延期・変更となった。関連した各教科の学習との時期にずれが生じるため、年間を通した継続的な取組が必要となる。	学校教育課
					1回								
		自然や歴史・文化とふれあう機会となるよう、講演会等の催しを実施して分かりやすく伝えていくことを通じて、歴史環境の保全に協力を求めていく取り組みを進めていきます。	29	自然や歴史・文化とふれあう講座・講演会の開催	6回/年 以上	A					100	① コロナ禍により多くの事業が中止又は縮小を余儀なくされたが、講演会等を通じて歴史や文化財に関する普及啓発事業を実施した。現地学習は、自然環境を体感できる絶好の機会であるが、すべて中止となった。 ② 講演会等はコロナ対策を徹底するとともに、状況を見ながらの開催とする。事業内容は多様化する傾向を分析し、市民のニーズに合った事業を展開する。	生涯学習課
					11回								
		市民等が環境を意識する機会を得られるよう、環境関連の催しを実施します。	30	ふれあいフェスタ等での環境意識向上に向けた取り組み	1回/年 以上	A					100	① 新型コロナウイルス感染症により、ふれあいフェスタは開催できなかったが、新たな取り組みである『ええもんクルッとコーナー』により、リユースを通じて環境を意識する機会の創出はできた。 ② ウイズコロナ時代でも開催可能な取り組みを更に検討する。	市民衛生課
					4 回								
		食育や地産地消の一環として学校給食における地域食材利用の取り組みを実施します。	31	学校給食における地域食材利用の取り組み実施(食育の日)	1回/年 以上	A					100	① 学校給食における食育や地産地消への取り組みの一環として、地域食材を積極的に利用した。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で4・5月休校により給食の提供が無かったが、この時期は、例年使用する食材が少ない事から影響は少なかった。 ② 地産地消コーディネーターから生産者へ栽培についての指導等による取り組みによって、学校給食で安定した地域食材を提供できるよう、生産者と連携を取りながら現状の水準を維持したい。	保健給食課
					33回								

3 指標設定のない主な取り組みの達成状況

(1) 達成状況の確認方法について

指標を設定していない主な取り組みについても、1-5(2)で示した手法と同様に、と評価年度に実施した事業内容とその成果、また、指標の目標達成状況等を総合的に判断し、各担当所管課において、次のA～Eのうちから選択し、それぞれ実施した事業内容とその成果及び次年度に向けた課題について、記述式でまとめる確認方法を実施しております。

区分	事業の状態	
	指標設定がない取り組み	達成率(%)
A	確実に取り組んでいる	100
B	ほぼ取り組んでいる	75
C	だいたい取り組んでいる	50
D	あまり取り組んでいない	25
E	全く取り組んでいない	0

達成状況一覧表には、A～Eを達成率(%)に読み替えて表示

(2) 基本目標別の達成状況の結果まとめについて

基本目標別の指標達成状況をまとめた結果については、以下のとおりです。

基本目標	指標設定のない 主な取り組み数	達成率
基本目標 1	10	80.3%
基本目標 2	15	85.2%
基本目標 3	16	85.5%
基本目標 4	2	87.5%
計	43	84.1% ※少数第2位切捨

4 課題と今後の取り組みについて

指標の達成状況については、2で示したとおり主な取り組みごとに5段階での評価を実施しております。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、評価を下げた取り組みがあったものの、結果としては、目標が達成された、進捗状況が高い及び中程度の状況であるものの合計は全体の90%を超えることができ、また、昨年度は未着手の取り組みがありましたが、解消を図ることができました。

一方、昨年に引き続き、進捗状況が低い取り組みが約10%ありましたが、これは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものでないものでは、「特定農地の登録面積」及び「リサイクル率の向上」が挙げられ、それぞれ、継続して目標達成することが困難な状況となっているものの、課題を整理し、目標達成に向け取り組みを進めてまいります。

また、指標全体の達成率については約80%、基本目標別の達成率で見ても、基本目標2及び4で80%を超え、一定程度の成果を得ることができたと考えられます。しかし、基本目標1及び基本目標3は70%を下回っております。これは、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止の影響もありますが、基本目標3では、昨年同様、3Rの推進事業で設定している「ごみ排出量」及び「リサイクル率」の結果が、目標を下回ったことが大きな要因となっております。ただし、「ごみ排出量」については、分別品目の追加と「ええもんクルっとコーナー」等を実施することで、昨年度比で減少させることができております。

引き続き、点検時に整理した次年度に向けた課題を踏まえ、達成できているものは継続して事業を進めるとともに、達成状況の低い基本目標1及び3の主な取り組みの改善を図ってまいります。